

『テニピン』実施レポート

学校名	茨城県かすみがうら市立下稲吉小学校	実施日	2020年7月1日～2020年7月31日
担当教員名	北村 政弘	実施学年/人数	第6学年/124名
学校学級紹介	<p>「自ら学び心豊かで、たくましい児童の育成」を教育目標に掲げ、その具現化に向けて、「基礎的・基本的な学習内容の充実とわかるを実感できる授業づくり」「時と場に応じた行動がとれる児童の育成」「児童の主体性を育成する活動場面づくり」を組織目標としています。</p> <p>本校の研究テーマは、「子ども一人一人の学習ニーズに応える指導法の研究」で、「わかる」を実感できる授業、「自分たちで創り上げた」と実感できる行事の実現を目指しています。</p> <p>テニピンを実施した本校6学年の児童は体を動かすことが好きで、休み時間は校庭で活動する姿が多くみられる。また、どの授業においても意欲的で特に体育を好む児童が多くいます。</p>		
実施内容	<p>全10時間</p> <p>【1～3時間目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャッチ&ラリー ・ペアラリー <p>【4時間目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアラリー ・試しのゲーム（ルールを確認しながら） <p>【5～10時間目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム練習（前回の振り返りをもとにチーム練習を考える） ・ゲーム①（状況判断をしてボールを返せるように）→チームで話し合い→ゲーム② ・振り返り 		
指導のポイント	<p>「状況を判断する力」「駆け引きをする力」「戦略を練る力」など「思考力・判断力・表現力」の育成に適した教材である「テニピン」を取り扱った。</p> <p>まず、思考力・判断力・表現力を高めるにあたって、単元前半では、相手や相手コートに返球できるように「守る打ち方」をしっかりと身に着けるられるように授業を行った。そのため、ゲーム中のラリーも続けることができた。</p> <p>次に、ゲームに慣れてきてからは、狙って得点を取りたいという意欲が現れ、「攻める打ち方」や「ポジショニング」、「どこを狙って打つのか」といった課題に移っていった。</p> <p>毎時間授業の振り返りを行い、体育ノートに「自分やチームの課題」や「次回はどんな練習をしたいか」「ゲームでは何を狙うのか」といった内容を記述させた。</p>		
感想・印象 今後の実施計画	<p>学習指導要領の改訂で、攻守一体型のゲーム(テニス・バドミントンなど)が小学校でも取り扱いはやすくなり、また、私自身も研究で「相手から来たボールを直接返球するゲームの必要性」を示唆していたことから、テニス型のゲーム「テニピン」の実施は念願でした。</p> <p>試しのゲームを行ったとき、打った球が相手コートに返らなかったり、自分から離れたボールには追いつけなかったりと、ゲームを行う上で不安はありましたが、回を重ねていくごとに子どもたちの技能は向上し、「相手コートに返せた」「相手の難しい返球に追いついた」「すごいところに決めた」などゲームを楽しむ姿が見られました。</p> <p>今後の実施計画について、来年度の秋に高学年で実施するように学校の年間指導計画に組み込んであります。</p>		

以下についても御協力御願います。

- 1) 指導案・・・ホームページの展開例を参考に授業を実施しました。
- 2) 児童感想文・・・なし
- 3) 写真2枚程度・・・別添

